

現 状

【能力に関する改良目標】

- (90日齢体重)
• 目標を大きく超えている。
- (1腹当たり離乳頭数)
• 目標を達成。

【能力向上に資する取組】

- (種畜供給・利用)
• 家畜改良センターは種畜供給体制を維持。

【その他】

- 原発事故により、東北・北関東の放牧は制限が続いている。

課 題

【能力に関する改良目標】

- (90日齢体重)(1腹当たり離乳頭数)
• 実績値の適切な把握の方法。

【能力向上に資する取組】

- (種畜供給・利用)
• 客観的な評価に基づく計画的な改良はまだ一部のみで実施。
• 人工授精の受胎率が低い。

【その他】

- めん羊の放牧再開に向けた研究開発を実施中。



山羊の改良増殖目標に係る現状と課題

現 状

【能力に関する改良目標】

- (総乳量)
- 目標を達成していない。
- (繁殖性)
- 指標がない。

【能力向上に資する取組】

- (種畜の供給・利用)
- 家畜改良センターは供給体制を維持。
 - 精液配布本数及び山羊の人工授精師は着実に増加。

【その他】

- 沖縄では山羊肉が振興されている。
- 小学校等での飼養の高まり。
- 農家ではないところで飼養されていることが増えている。
- 原発事故により、東北・北関東の放牧が制限されている。

課 題

【能力に関する改良目標】

- (総乳量)
- 産乳能力に優れた種畜の活用が必要。
- (繁殖性)
- データの収集方法を検討。

【能力向上に資する取組】

- (種畜の供給・利用)
- 人工授精の簡易な方法の確立、受胎率の安定的な向上。

【その他】

- 山羊肉の更なる振興方法を検討。
- 安定供給ができる体制を強化。
- 山羊の飼養衛生管理をわかりやすく普及させる必要。
- めん羊を用いて放牧再開に向けた研究開発を実施中。